

日本列島 組合探検隊



新製品・新技術 新サービスの開発

津軽塗仏壇「格子 ism」開発と津軽塗伝承技術の承継

～津軽漆芸協同組合（青森県）～

◆背景と目的

津軽塗の売上げが低迷したことにより木地師、漆師の廃業が相次ぎ、津軽塗という伝統工芸の伝承が危ぶまれる事態となっており、状況を改善すべく「木地師の技術承継、木地加工場の確保」を主な目的に組合を設立し、不況時でも売れる商品の開発を目指した。「現代の暮らし方に合った仏壇」とのコンセプトを立案し、コンパクトな仏壇の製造・販売事業に着手した。素材に青森ヒバを採用し、その美しい木の表情を活かしつつ、津軽塗を施し、多くのバリエーションのある格子を扉にあしらった仏壇「格子 ism」が誕生した。

◆事業・活動の内容

仏壇の開発にはコンピュータ・グラフィックを駆使し、デザイン、設計、試作、評価をコンピュータ上の3Dイメージで完結させることに成功した。販売時にもコンピューター・グラフィックが活用され、顧客の好みによるデザインをリアルに表現することが可能となり、顧客は正確な出来上がりイメージを確認し、納得してから発注することが可能となった。

◆成果

新商品開発という新たな希望を見出したことにより、職人たちが理事長の趣意と現実的なプランに賛同し、組合というかたちで団結した。まさに伝統的工芸品の組合とはこうあるべきという1つのモデルとなり得る組織であり、この組織化自体が1つの成果であると言える。また、仏壇の商品化着手のきっかけは、消費者とのふとした会話から着想を得たものであり、常に市場や顧客ニーズを意識した活動が成功の要因となったと分析できる。



【組合の概要】

所在地：弘前市大字東長町 20

電話：0172-34-9244

設立：平成20年8月 組合員：4名

URL：http://www.tsugarunuri.net/

地域商業の 活性化

地域の繋がりを活かし「鉄のまち」の商店街を再生

～輪西商店街振興組合（北海道）～

◆背景と目的

創業100年を迎えた製鉄所の門前町として発展してきた輪西商店街は、昭和40年代半ばに鉄鋼の構造不況等があり、地域人口の減少とともに店舗数が全盛期の半数以下にまで落ち込んでいた。こうした状況下、商店街有志が中心となり、平成13年～14年にかけて複合商業施設「ぶらっと。てついち」、市民会館（市に売却）を相次いで建設した。この2つの核施設整備により「くらしの広場」が立ち上がり、地域における交流の場としての賑わいを演出するとともに、現在は少子化や環境に配慮した取り組みも積極的に行い地域住民の「くらしの広場」のさらなる整備に向けた商店街活動を行っている。

◆事業・活動の内容

「輪西を守る」「輪西を伸ばす」という2つのポイントを重視し、「住みやすいまち」「心のふるさと」としてのまちづくりを進め、商店街の再整備のみならず、輪西地区全体の活性化を主眼に置いたまちづくりを展開。2つの核施設整備（複合商業施設・市民会館）とともに、子育て支援施設「ワニワニクラブ」や集会所などのコミュニティ性の高い施設を設置し、施設利用者の利便性を高めている。

◆成果

商業施設に市民会館・コミュニティ施設を併設することにより、多くの相乗効果を与えている。具体的には、買い物目的以外の集客を実現し「ついで買い」の創出に成功、市民会館の利用率も旧施設の3倍に向上、子育て支援施設は週140組前後の利用者を実現などが挙げられている。今後は、輪西地区に生活に必要な機能が全て揃い、輪西の人々が集まるお茶の間としての機能を持った「くらしの広場」実現をより一層進めていくことを目標に、同地区への定住化実現のための取り組みを検討していく。



【組合の概要】

所在地：室蘭市輪西町2-5-1 ぶらっと。てついち内

電話：0143-43-5846

設立：昭和54年2月 組合員：69名

URL：http://www.kic1.com/wani/